

第1期（令和6年10月1日から令和7年3月31日まで）

（単位：円）

科目	当年度
I. 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1)経常収益	
受取寄付金	15,000,000
雑収益	4,124
経常収益計	15,004,124
(2)経常費用	
事業費	
支払手数料	1,210
諸会費	61,600
管理費	
渉外費	6,500
通信運搬費	1,430
印刷費	10,560
保守費	424,600
租税公課	25,000
支払手数料	3,190
広告宣伝費	294,250
雑費	12,375
経常費用計	840,715
当期経常増減額	14,163,409
2. 経常外増減の部	
(1)経常外収益	
経常外収益計	0
(2)経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	14,163,409
一般正味財産期首残高	0
一般正味財産期末残高	14,163,409
II. 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III. 正味財産期末残高	14,163,409

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度
I. 資産の部	
1. 流動資産	
現金・預金	14,669,219
流動資産合計	14,669,219
2. 固定資産	
(1) 特定資産	
特定資産合計	0
(2) その他固定資産	
その他固定資産合計	0
固定資産合計	0
資産合計	14,669,219
II. 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	505,810
流動負債合計	505,810
2. 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	505,810
III. 正味財産の部	
1. 指定正味財産	0
(うち特定資産への充当額)	(0)
2. 一般正味財産	14,163,409
(うち特定資産への充当額)	(0)
正味財産合計	14,163,409
負債及び正味財産合計	14,669,219

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象または状況はありません。

2. 重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

該当ありません。

棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当ありません。

固定資産の減価償却の方法

該当ありません。

引当金の計上基準

該当ありません。

消費税等の会計処理

税込方式によっております。

3. 特定資産の増減額及びその残高

該当ありません。

4. 担保に供している資産

該当ありません。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当ありません。

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当ありません。

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

該当ありません。

2. 引当金の明細

該当ありません。

3. その他の重要な事項

該当ありません。

監 査 報 告

私は、当法人の令和6年10月1日から令和7年3月31日までの理事の職務の執行について監査を行いましたので、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当法人の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

2. 監査の結果

(1)事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和7年5月9日

一般社団法人 池田泉州奨学基金

監 事 堀 内 修

